

産学交流シンポジウム 2010

# 化学の世界をシミュレーション

主催 日本化学会産学交流委員会

日時 平成 22 年 3 月 28 日 (日) 10 時 00 分～15 時 10 分

会場 日本化学会第 90 春季年会 (2010) 近畿大学本部キャンパス

H7/SC 会場 (B 館 402 教室) \*当初の 203 教室から変更になりました。

<http://www.kindai.ac.jp/about/access/honbu.html>

**趣旨** 化学の世界では実験が不可欠である。そして失敗も含め偶然の幸運に恵まれた予期せぬ実験結果が、化学技術の発展に寄与した例は多い。かように実験結果は多様であるが、実験を行おうとする動機は怪しい錬金術における欲望をはじめ、何らかの仮説とそれが正しいであろうという期待からではないだろうか。しかし、簡単な実験であればすぐにできるが、実験には経済的な制約がつきものである。昨今は環境への影響も大問題であり、実験装置導入に環境アセスメントを行っている企業もある。このように種々の制約がある実験を行う前に、その期待値をあげることができれば、効率的に研究開発を進めることができる。コンピューターシミュレーションはその一手法であり、化学の様々な分野で活用されている事例をもとに、化学におけるシミュレーションを議論してみたい。

**内容** プログラムは一部変更する場合があります

10:00～10:50 基調講演 シミュレーションで材料開発はどう変わるか

(東京大学大学院工学研究科 教授) 土井 正 男

10:50～11:30 材料の自発的構造形成と材料設計

(株) 豊田中央研究所 材料分野 計算物理研究室 室長) 兵頭 志 明

11:30～12:10 材料設計－高分子材料設計

(旭化成 (株) 基盤技術研究所) 青柳 岳 司

13:00～13:40 次世代コンピューターの化学への応用 [開発者側]

(理化学研究所) 姫野 龍太郎

13:40～14:20 シミュレーション技術の応用事例－ガラス材料の設計

(旭硝子 (株) 中央研究所) 高田 章

14:30～15:10 シミュレーション技術の応用事例－有機光学材料の設計

(法政大学情報科学部/元住友化学 (株) 筑波研究所) 善甫 康 成

司会：倉地育夫 (エカミル株式会社)・安東敏彦 (味の素) ほか

**参加費** 無料。講演資料代：1,000 円 (当日徴収)

**参加申込方法** 「3/28 産学交流シンポジウム出席」と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX 番号・e-mail を明記のうえ、e-mail ( [matsubara@chemistry.or.jp](mailto:matsubara@chemistry.or.jp) ) にてお申込み下さい。

**申込先** 101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5 日本化学会企画部 担当：松原・保倉

電話 03-3292-6163、FAX03-3292-6318、e-mail : [matsubara@chemistry.or.jp](mailto:matsubara@chemistry.or.jp)